



扇田克也
光のカタチ

扇田克也《海に降る雨》2011年 作家蔵

OHGITA Katsuya

Shape of Light

2018.4.28 SAT. - 9.3 MON.

展覧会名 扇田克也-光のカタチ

会 期 2018年4月28日(土) - 9月3日(月)

会 場 富山市ガラス美術館 展示室1・2(2階)

開場時間 午前9時30分～午後6時※初日は開会式(午前11時～)終了後、開場
(金・土曜日は午後8時まで。入場は閉場の30分前まで)

閉 場 日 5月9日(水)、5月16日(水)、6月6日(水)、6月20日(水)、
7月4日(水)、7月18日(水)、8月8日(水)、8月22日(水)

観 覧 料 一般700円(500円) 大学生500円(300円)

○()内は20名以上の団体 ○高校生以下は無料

※1 他展覧会との共通観覧券あり

※2 本展観覧券で常設展も観覧可

主 催 富山市ガラス美術館

後 援 富山新聞社、北國新聞社、北日本放送、チューリップテレビ、富山テレビ放送

概要

本展は、主にガラスを素材に柔らかな光を湛^{たた}える作品を生み出す作家、扇田克也の個展です。扇田は金沢美術工芸大学の鑄金科を卒業後、東京ガラス工芸研究所にてガラスによる制作を学びました。1980年代後半より、型にガラスを詰め、熱を加えて溶かし、その後冷やし固めるコールド・キャストの方法を用い始め、簡潔なかたちの中に、光の存在を意識させる作品の制作に取り組みます。家、山、大地、雨、海、星々といった、身の回りの風景の中にあるものを見つめ、日々を生きる中での体験から発見を得て生み出される扇田の作品には、自然の秩序の中で営まれる、ささやかな日常^{いづく}を慈^{せいひつ}しむ作家の眼差しが投影されています。本展では初期から現在に至るまでの作品から、静謐であたたかな存在感を放つ扇田の作品世界を紹介します。

略歴

- 1957 大阪府河内長野市に生まれる
- 1980 金沢美術工芸大学鑄金科卒業
- 1983-85 東京ガラス工芸研究所に学ぶ
- 1995-96 五島記念文化財団海外研修助成によりヨーロッパで研修
- 1997 NHK土曜美の朝「潜む光のその奥へ ガラス造形家扇田克也」放映
- 現在 石川県と大阪府で制作活動を行う。

《受賞歴》

- 1986 国際ガラス工芸展'86 大賞、オーサ・ブラント賞
- 1991 第4回世界現代ガラス展 北海道立近代美術館賞
- 1994 五島記念文化賞美術新人賞

《主な展覧会》

[個展]

- 1997 「五島記念文化賞美術新人賞研修帰国記念 扇田克也展」マスダスタジオ／東京
- 2007 「光のカタチ 扇田克也展」高島屋東京店美術画廊X／東京；名古屋、大阪へ巡回
- 2012 「Katsuya Ohgita Glass Works Exhibition Condensed Light」Ippodo Gallery／
ニューヨーク州、アメリカ
個展、新宿タカシマヤ美術画廊／東京('15)
- 2016 「扇田克也展 HOUSEMAN INTO IHARIAN」AS baku B／石川

[グループ展]

- 1991 「第4回世界現代ガラス展」北海道立近代美術館／北海道
1992 「ガラスの世界的動向展」西オーストラリア州立美術館／オーストラリア
1993 「New GLASS IN JAPAN」デュッセルドルフ美術館／ドイツ
1996 「サントリー美術館大賞特別展'96 - 挑むかたち」サントリー美術館／東京
1998 「いまを表現するガラス造形展」新潟市美術館／新潟
2003 「遠慮のないガラス～今日の日本から」北海道立近代美術館／北海道
2004 「ガラスの迷宮」石川県能登島ガラス美術館／石川
2005 「現代ガラスの挑戦 光の彫刻展」菊池寛実記念智美術館／東京
2009 「はじめに、光ありき 美術にみる光の表現」北海道立近代美術館／北海道
「自宅から美術館へ 田中恒子コレクション展」和歌山県立近代美術館／和歌山
2013 「現代の工芸、今—いつつの言葉—」樂翠亭美術館／富山
「気象と芸術」北海道立釧路芸術館／北海道
「扇田克也×上野雄次展 はなのあとさき」南青山karanis／東京
「SOFA Chicago 2013」Ippodo gallery／イリノイ州、アメリカ（'14, '15）
2014 「ふゆのおとずれ 扇田克也×上野雄次展」南青山karanis／東京
「London Collect」Ippodo gallery／イギリス（'15）
2016 「扇田克也×上野雄次展 はななつひかり」南青山karanis／東京
「Feeling in glass—感じとるかたち—」富山市ガラス美術館／富山
2017 「Collective Design NY」Ippodo NY／ニューヨーク州、アメリカ
「扇田克也×上野雄次展 いはりはないけ」南青山karanis／東京
「Daegu Art Fair 2017」山木美術／韓国
2018 「100 Beyond Sculpture Exhibition」山木美術／韓国
「ART BUSAN」山木美術／韓国

《主なパブリックコレクション》

デュッセルドルフ芸術館／ドイツ、コーブルグ城美術館／ドイツ、ラシーン美術館／
ウィスコンシン州、アメリカ、北海道立近代美術館／北海道、横浜美術館／神奈川、
サントリー美術館／東京、金沢21世紀美術館／石川、和歌山県立近代美術館／和歌山、
樂翠亭美術館／富山、富山市ガラス美術館／富山

| 関連プログラム

■開会式・作家によるギャラリートーク

日 時：4月28日（土） 午前11時より

会 場：富山市ガラス美術館 2階ロビー

※一般の方もご覧いただけます。

※ギャラリートークは展示室1・2にて行います。入場には本展観覧券をご提示下さい。

■扇田克也 ギャラリートーク

日 時：5月5日（土・祝）、7月28日（土）、8月11日（土・祝） 各回14:00～

■学芸員によるギャラリートーク

日 時：5月19日（土）、6月16日（土）、6月30日（土）、7月14日（土）、
8月25日（土）

会 場：展示室1・2（富山市ガラス美術館 2階）

※関連プログラムはいずれも事前申込不要。展示室への入場には本展観覧券をご提示下さい。

※関連プログラムの日時は都合により変更となる場合があります。最新の情報は美術館ホームページにてご確認ください。

| 展覧会カタログ 『扇田克也一光のカタチ』

執筆：

扇田克也、上野雄次（花道家/アーティスト）、苫名真（北海道立近代美術館学芸部長）、
渋谷良治（富山市ガラス美術館長）、中島春香（富山市ガラス美術館学芸員）

定価：1,500円（税込）

言語：日英併記

デザイン：南知子（stompdesign）

2017年4月28日（土）発刊（予定）

取り扱い：TOYAMA キラリ（富山市ガラス美術館）2階ミュージアムショップ

| 広報用画像の貸出しについて

別紙5pの画像1-7を広報用に貸出しいたします。

ご希望の方は、6pの画像貸出し申請書の使用条件をご確認いただき

EメールかFAXにて富山市ガラス美術館広報担当へ申請書をお送りください。

E-mail：bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp FAX：076-461-3310

| 出品作品



1 扇田克也《海に降る雨》2011年 作家蔵



2 扇田克也《霧の山》2011-2012年 作家蔵



3 扇田克也《LIGHT-SHAPE》2006年 作家蔵



4 扇田克也《雨を渡る》2016年 作家蔵



5 扇田克也《庭》1997年 作家蔵



6 扇田克也《HOUSE》2013年 作家蔵



7 扇田克也《HOUSE》2017年 作家蔵

年 月 日

(宛先) 富山市ガラス美術館長

担当者： _____

Tel： _____ Fax： _____

E-mail： _____

住所： _____

団体名： _____

富山市ガラス美術館 画像貸し出し申請書

次のとおり、掲載用素材として企画展「扇田克也-光のカタチ」の画像を申し込みます。

1. 掲載（放映）媒体名： _____

2. 媒体種別：TV 新聞 雑誌 フリーペーパー 電子書籍 WEB サイト 携帯媒体
その他（ _____ ）

3. 掲載の趣旨
別紙のとおり（媒体資料を添付してください）

4. 掲載（放映）日時： _____

5. ご希望の画像番号： _____

○作品に文字やほかのイメージを重ねることはできません。また、縦横比の変更やトリミング、キャプション等の文字が写真にかぶらないようご配慮をお願いします。

○作品掲出には指定するキャプションを必ず入れてください。

○作品画像の2次使用はご遠慮ください。

※同一記事の再掲載や再放送等については再申請が必要となります。また、画像が使用できる期間は展覧会期間内のみとなります。

○商品のPR等の商業利用に関しては画像の提供は出来ません。

○校正ゲラの段階で情報の確認をさせていただきます。

○記事が掲載された場合はDVD、掲載紙、誌を一部ご寄贈いただきますようお願いします。

申請書送付先：富山市ガラス美術館広報担当 E-mail: bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Fax : 076-461-3310